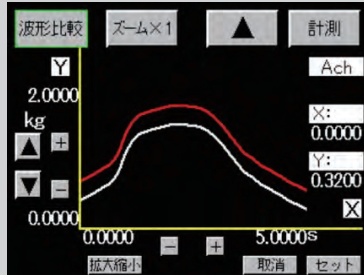


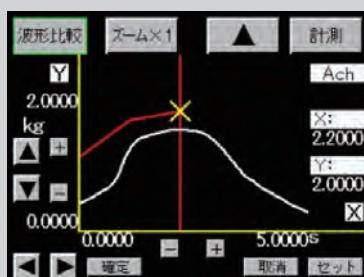
波形比較の作成機能が自動作成へ大幅に進歩。 波形比較画面上のデジタル数字は、特に強調され見やすさUP。

比較波形の作成方法

従来品 (VLGMシリーズ) の場合



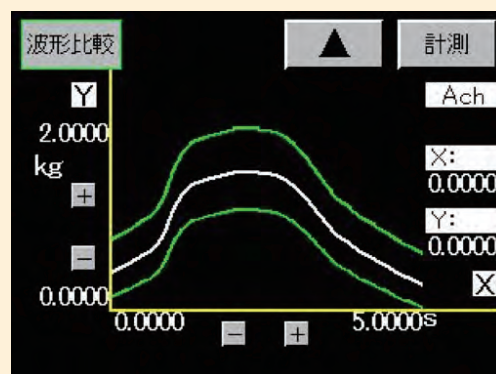
サンプリング波形を取り込み。移動・拡大・縮小を使用して比較波形を手動で作成。



画面上でカーソルを移動させてポイントを指定し、ポイントを直線で結んで比較波形を手動で作成する

新製品 (VLGM3) の場合

上下限波形それぞれの「傾き」、「切片」をRS通信コマンドで設定し、サンプリング波形取り込みと同時に**比較波形を自動的に作成**。作成された比較波形を任意のパターンに保存して使用します。
(RS通信コマンドの設定は取扱説明書をご参照ください。)



上限波形比較パラメータ
 $1.00 \leq K_H \leq 1.20$ $0 \leq B_H \leq 2000$
 下限波形比較パラメータ
 $0.80 \leq K_L \leq 1.00$ $-2000 \leq B_L \leq 0$
 (サンプリング波形を K_H (K_L) 倍してから B_H (B_L) シフトします。)

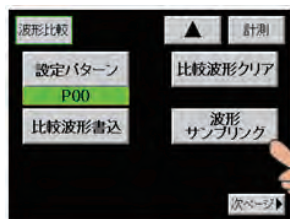
●ピークホールド動作時

ピークホールド動作時でも、波形比較画面のメーター表示はホールドしない。(常に読み値を表示する)

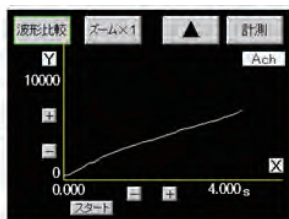
●ピークホールド動作時

ピークホールド動作時でも、波形比較画面のメーター表示はホールドする。(メーターモードと同じ動作になる)

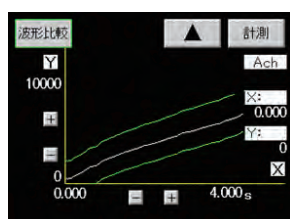
●とても簡単なサンプリング波形の作成



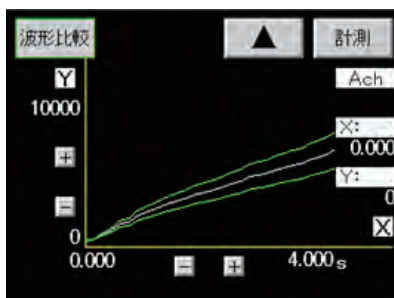
▲ボタンを押してサンプリング波形を読み込み



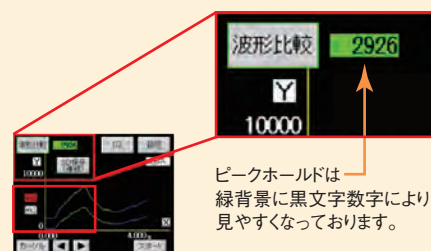
▲サンプリング波形を表示



▲パラメータの変更でサンプリング波形の変更も簡単に行えます。



●サンプリング波形移動ボタンを押せばあらかじめ設定してあったパラメータに準じて上下限波形が表示されます。



ピークホールドは緑背景に黒文字数字により見やすくなっております。